



一般社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2019 9-10月号

【交流コーナー】

環境エネルギーの現状と将来
恒例名工大ヨット部のファミリーデー

【研究者紹介】

異種材料のレーザ接合技術

【新聞記事コーナー】

中日新聞、中部経済新聞

【ホットライン】

鶴桜会 (OG会) 支援金授与

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.491

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>





第5回 名古屋工業大学 HOMECOMING DAY

プログラム(予定)

※要参加申し込み

● 10:00~11:50
学内・研究室見学ツアー

● 10:00~12:00
参加者体験型イベント

● 13:00~14:45
歓迎式典 (NITech Hall)

- ・名古屋工業大学長挨拶
- ・名古屋工業会理事長挨拶
- ・大学近況報告
- ・記念講演会

講師 松尾 徳朗氏

2006年 本学大学院工学研究科
情報工学専攻博士後期課程修了

演題 「日本が次の時代に世界で
勝ち組になるために」

- ・卒業50周年記念式典
～半世紀遅れの卒業式～
- ・学歌合唱

● 15:30~17:00
懇親会(大学会館) 会費:2,000円

2019年

10月26日(土)

共催:名古屋工業会



記念講演会 講師

松尾 徳朗氏

- ・公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学 教授
- ・同大学院 高度専門職人材教育研究センター長
- ・同大学院 人工知能とサービス科学研究所長

松尾教授は情報工学分野の研究者でありながら小学校教諭免許を持ち、また、イベントプランナーとして50以上の国際会議をプロデュースし、イベントビジネス分野において日本政府観光局や熊本市のアンバサダーを務めていらっしゃいます。現在勤務されている大学院では、マーケティングや商品開発、産業心理学や企業危機管理、カジノ産業やイベント経営学などを教授されています。

卒業・修了後30年(1989年)、40年(1979年)、60年以上(1959年12月以前)及び修了後50年(1969年)の方は式典及び懇親会へご招待いたします。

学部卒業後50年(1969年)の方への参加案内

学部卒業後50年(1969年)の方は卒業50周年記念式典があります。別途、登録が必要ですので以下問合せ先までメールにてご連絡ください。

【お問い合わせ先】名古屋工業大学卒業生連携室
Mail:renkei@adm.nitech.ac.jp

表紙写真説明

「名工大の秋」

撮影者 名工大企画広報室

交流コーナー

環境エネルギーの現状と将来

(株)テス・リサーチ 代表 末利 鏡意 (D41)

1. はじめに

今や、地球温暖化が急速に進んでおり、昨年は記録的な暑さに見舞われ、台風や洪水の災害が頻発しました。もはや、異常気象が毎年続く状態になりつつあります。そこで、環境とエネルギーの現状と将来について、私見を含めて報告します。

2. 欧州からの警告

スウェーデンのレジリエンスセンター所長によれば、「気温が産業革命時代から2℃（臨界点）を越えるとドミノ倒しのように連鎖的に上昇しはじめる」と言われています。米国科学アカデミーは「CO2濃度が400ppmだったのは今から1600万年前の中新世中期である。気温は産業革命時代より4℃高く、海水面は10mから60m高かった。」「予防原則に則って着実に温暖化ガスを削減しなければならない。」と警告しています。

3. COP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）

2015年パリで開催のCOP21で、2020年以降の温暖化防止対策の国際的な枠組み、所謂、『パリ協定』が正式に採択されました。京都議定書と同じく、法的拘束力を持つ強い協定で、世界の196カ国地域が合意した歴史的な国際合意の

採択にこぎ着けることができました。（但し米国は政権が交代し脱退）

4. IPCC第5次報告

気候システムの温暖化には疑う余地がない。気温は1880年から2012年の間に0.85℃上昇。海水面積は1879年～2012年で10年あたり9.4～13.6%の割合で減少。海面水位は1901年～2010年で0.19m上昇。積雪面積1967年～2012年で10年あたり1.6%の割合で減少。但し、IPCCの気候シミュレーションでは永久凍土からの温暖化ガスの放出や、世界中に分布するメタンハイドレートの噴出は未配慮とのこと。



図2. シベリアのヤマル半島でみつかったメタン噴出の穴

5. SDGs（持続可能な発展目標）

SDGs（持続可能な発展目標）は、2001年に国連で策定されたMDGs（ミレニアム開発目標）の後継で、2015年採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットから構成されています。地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。日本は、ジェンダー平等や貧困対策、クリーンエネルギーなどの分野で課題があると指摘されています。

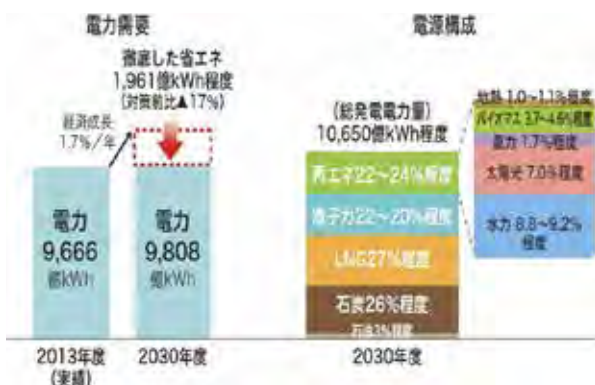


図1. 日本の2030年度電源構成目標



図3. SDG s 17目標のロゴマーク

6. エネルギー自由化の目的

このような状況下、電力やガス市場が完全に自由化されました。その目的は次の通りです。

1) 安定供給の確保

広域的な電力融通を促進し、再エネや自家発電など、多様な電源を活用する。無理のない節電の仕組みにより、計画停電に頼らないシステムにします。

2) 電気料金の最大限の抑制

企業間での競争を促進させ、電気の生産や販売を行う企業の創意工夫や経営努力を生み出します。

3) 電気利用の選択肢、企業の事業機会拡大

一般家庭、企業を含めたすべての電気利用者が、供給者を自由に選べるようになることで、企業のビジネスチャンス、イノベーションを生み出します。都市ガスも同様です。

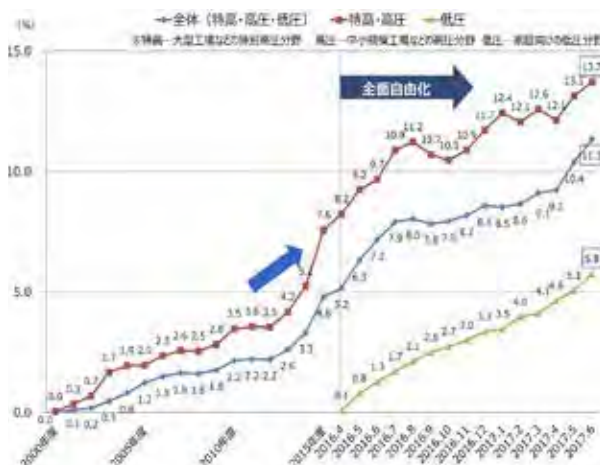


図4. 新電力の小売電力市場シェア推移

7. EUのエネルギー政策(基本方針)

1) 低炭素経済に寄与します。

2) 緊急時に対応したエネルギーを確保(原油の備蓄)します。

3) エネルギー確保のための新たな手段を実施します。

① トルコ経由カスピ海地域から天然ガスを輸入するパイプラインを建設します。

② 再生可能エネルギーを制御するための電力網整備も強化します

4) 自由化の推進

① 法的に自由化を推進します。

② 但し、競争力の確保やアンバンドリングを見守ります。

8. ドイツのエネルギー政策

1) エネルギーの安定供給を確保します

2) 自由競争により適切なエネルギー価格を維持します。

3) 環境問題に積極的に取り組みます。

4) 経済性のある再生エネルギー開発へ投資します。

5) 脱原発を進めます。

6) 地球環境問題に積極的に取り組みます。

9. 日本を取り巻くエネルギーの現状と将来

1) 自動車産業では電気自動車化競争が激化するでしょう。

2) 脱原発を宣言した国がある一方、原発を活用している国も残るでしょう。

3) 全面自由化と再エネ拡大により新たな課題が残るでしょう。(発電量変動への補完が必要)

4) パリ協定をめぐる動向は、米国が離脱でも、傾向は変わらないでしょう。

5) 世界のエネルギー・電力市場は今後も拡大するでしょう。

6) 中国国営企業が台頭し、欧米のエネルギー市場のM&Aが進展するでしょう。

7) 金融プレイヤーの存在感が高まるでしょう。

8) 世界全域で地政学上の緊張関係が高まるでしょう。

10. 2050年での一次エネルギーのあり姿

1) 再生可能エネルギー：経済的に自立し脱炭

素化した主力電源となるでしょう。(水素/蓄電/デジタル技術開発の発展が鍵)

2) 原子力：脱炭素化の選択肢の1つとして残るでしょう。(安全炉追求/バックエンド技術開発が鍵)

3) 化石燃料：過渡期的には主力エネルギーとして残るでしょう。資源外交を強化し、ガス利用へシフトするでしょう。非効率な石炭火力は無くなるでしょう。但し、脱炭素化に向けて水素エネルギーの原料となっているでしょう。

11. 2050年頃のイメージ

1) 地球環境は温暖化して荒々しい気候になっているでしょう。大型の台風の襲来で、風水害が起こっているでしょう。

2) 一次エネルギー源は主力として太陽光、風力、水力、バイオなどの再生可能エネルギーとなるでしょう。補完エネルギーとして天然ガス、石炭などの化石燃料。原子力も最終処分場を確保できる地域(国)では稼働しているでしょう。

3) スマートエネルギーネットワークが構築され、電力売買市場が発展し、エネルギーの時間的な売買(デマンドサイドマネジメント)が普及しているでしょう。



図5. スマートエネルギーネットワーク

4) 蓄電装置の実用化が進んで、電気が貯められるようになり再エネの過不足を補完しているでしょう。

5) 蓄電装置の実用化が進まなければ、水素で貯蔵・輸送するエネルギーシステム(都市

ガスシステムに似たもの)が補完しているでしょう。

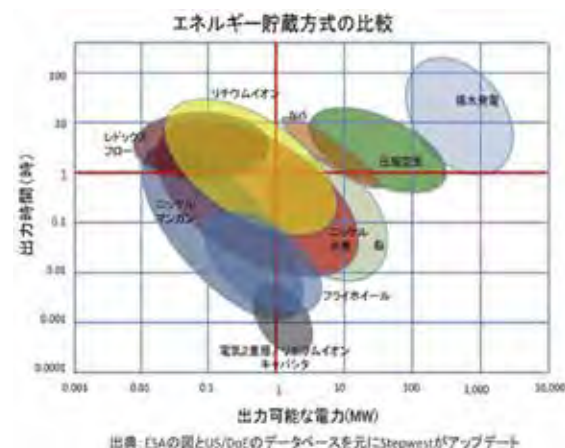


図6. エネルギー貯蔵方式の比較

電気と水素を活用し、多様なエネルギーから成り立つ社会へ



図7. 電気と水素を活用した社会

6) 自動車は高効率の電気自動車か水素自動車
が普及しているでしょう。



図8. 電気・燃料電池・ガソリン車の
エネルギー効率比較

7) AIやIoTの技術が飛躍的に発展し、更なる省エネ社会となっているでしょう。

12. 持続可能原則

地球は持続可能でなければなりません。経済学者のハーマン・E・デイリーはその著書「持続可能な発展の経済学」の中で、持続可能原則を次のように定義しています。

- ①「再生可能な資源」は、長期的再生産が可能な範囲で利用しうること。
- ②「再生不可能な資源」は、他の物質やエネルギーでその機能を代替できる範囲内で利用すること。
- ③人間活動からの環境負荷の排出は地球環境の自浄能力の範囲内、従って人間活動は生態系の機能を維持できる範囲内に留めること。

13. パラダイムシフト(価値観の劇的変化)

例として、①2015年：国連総会 持続可能な開発のためのアジェンダ2030 (SDGs)を採択

②2015年：気候変動枠組み条約締結国会議COP21パリ協定成立 ③国連責任投資原則に世界の機関が署名(2016年時点で1759機関、23兆ドル) ④2015年気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)が設置(2019年時点で598機関が署名、日本は59機関)

従来の経済発展重視社会から持続可能な社会へ、価値観が劇的に変化しつつあります。



図9. 「持続可能な社会」に向けて価値観の大転換(パラダイムシフト)

14. まとめ

限られた空間である宇宙船「地球号」の未来は不確かさで満ちています。

- ① 地球自身の変化
- ② 太陽活動の変化

③ 人類社会の変化

④ 科学技術の発展

人類は持続可能な未来を切り開いていかなければなりません。

そのためには、科学技術者だけでなく、社会全体で考えていく必要があります。

引用文献

- 図1 経済産業省ホームページ
図2 http://afpbb.ismcdn.jp/mwimgs/e/d/500x400/img_ed991aa344a7a0f9590f2b75659aaff5213132.jpg
図3 国際連合広報センターホームページ
図4 経済産業省ホームページ
図5 大阪ガスホームページ
図6 ESAの図とUS/DoeのデータベースをもとにStepwestがアップデート
図7 川崎重工業ホームページ
図8 http://www.im-sendai.jp/archives/2006/11/post_215

末利鍔意氏の紹介



略歴

- 1966年 名古屋工業大学工業化学科卒業
1968年 名古屋大学化学工学科修士修了
1968年 大阪ガス入社
2001年 技術士登録
2005年 株式会社テス・リサーチ設立
2008年 日本技術士会副会長就任

本稿は、2019年6月15日、名古屋工業大学23号館2312教室で開催された令和元年度緑会総会において行われた講演を「ごきそ」掲載用にまとめたものです。

交流コーナー

恒例名工大ヨット部のファミリーデー

柴田 孝介 (Y28)

毎年恒例の名工大ヨット部ファミリーデーは7月14日蒲郡の豊田織機海陽ヨットハーバーで開催されました。

当日の参加者はヨット部員の両親姉弟、若いOBが連れてきた1歳2ヵ月の幼児から最高齢は89歳のOBまで総勢119名が集まって楽しい一日を過ごしました。

特筆は鵜飼学長がお孫さんはじめご家族同伴で参加してくださったことです。

まず全員が10時ころから部の所有艇10余隻にクルーザーやモーターボートなど計10数隻に分乗して沖合に出航し軽風での帆走を2時間ほど楽しみました。海面は家族連れにはもってこいの軽風で存分に小型ヨットの快適さを味わってもらえました。

正午頃帰港し艇庫に集まって盛大なバーベキューパーティー。食べ放題飲み放題で数か所のBBQセットを囲んで現役生と歓談するもの、艇庫内の栈敷?でくつろぐ一家等々で時を過ごしました。

終盤のスイカ割り大会では10数名の子供たちの奮闘に全員が大歓声を上げて盛り上がりました。

打ち上げには鵜飼学長の挨拶をいただき石川監督の中入り宣言で4時ころ閉会しました。

ヨット部のファミリーデーは艇庫が常滑市の鬼崎にあった昭和40年代からすでに50年以上続く恒例行事で、当時スイカ割りをした幼児がすでに定年年代になり、その子供が小学生になってスイカ割りに参加したがついています。

名工大ヨット部は現在部員数38名、うち女子学生13名で当地区では最大最強を誇り、ここ数

年は地区予選を勝ち抜いて全日本インターカレッジに連続出場しています。特筆すべきは女子部員で現役レーサーとして全日本女子インターカレッジに参戦するものや、マネージャーとしてモーターボートを操縦しながらレースや練習を管理したり合宿生活をコントロールするなど、部活に無くてはならぬ存在となっています。

当ヨット部は開学前の高専時代、昭和23(1948)年の福岡国体に参加した記録がありますが、それ以来今日に至るまで全日本インターカレッジの常連校で、国立の特に工業系単科大学



学長乾杯音頭



クルーザー小町

では唯一の存在となっています。

また、OB組織の名工会ヨットクラブは旧高専が終了した昭和26（1951）年発足し、以降当地区で最初のクルーザーを進水させるなどのクラブ活動とともに現役ヨット部の援助を主体として活動し現在約200名の会員を擁しています。



学長乗艇



バーベキュー風景



スイカ割り



全員集合

研究者紹介

異種材料のレーザー接合技術 金属と樹脂を迅速、簡便、高強度に接合できる

研究者：名古屋工業大学大学院工学研究科
電気・機械工学専攻 早川伸哉 准教授



レーザー光や放電の熱で材料の温度を上げて加工する、熱的な生産加工技術を研究している早川伸哉准教授。金属と樹脂という異種材料のレーザー接合や、炭素繊維強化樹脂(CFRP)の放電加工などの技術を開発するとともに、加工の際に起こる物理現象の解明と検証を行い、加工技術の生産現場での実用化を目指す。

◇接合面に形成した微細凹凸によって金属と樹脂の強固な直接接合を可能に

自動車の軽量化などを背景として、ネジなどの部品や接着剤を使わない、金属と樹脂の直接接合が注目されている。従来の同種樹脂同士のレーザー溶着法を応用し、接合する部材の一方の接合面に微細な凹凸を形成する前処理を施すことで、アルミニウムと熱可塑性樹脂であるアクリル(PMMA)との組み合わせなど、異種材料の直接接合を実現した。

熱可塑性樹脂同士をレーザー溶着する場合、レーザー光を透過する熱可塑性樹脂(透明樹脂)とレーザー光を吸収する熱可塑性樹脂(着色樹脂)を重ねて、透明樹脂側からレーザー光を照射すると、レーザー光は透明樹脂を透過して着色樹脂の表面(接合面)で吸収される。それにより着色樹脂が局所的に発熱し、その熱が熱伝導によって透明樹脂にも伝わるため、両材料が接合界面で局所的に熔融して接合される。

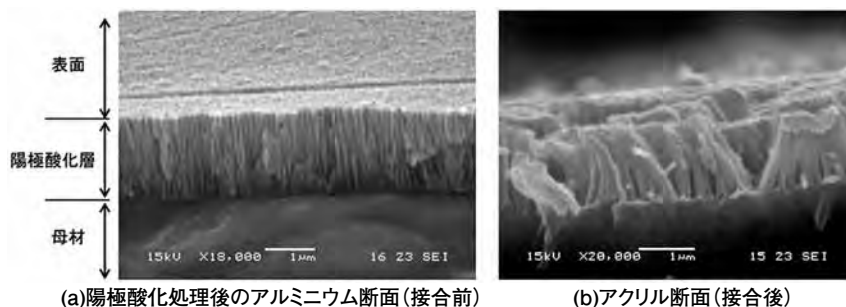
この方法を金属と樹脂のような異種材料の接合に応用するにあたり、前処理で接合面に微細な凹凸を形成することによって、レーザー光吸収率が増大し、双方の材料が細部に入り組んで抜けにくくなる「アンカー効果」の発現という利点が得られる。接合に用いる金属材料がアルミニウムの場合は、リン酸液に浸して約40ボルトの電圧をかける「陽極酸化」という方法で前処理を施すのが効果的。陽極酸化処理によってアルミニウムの表面に直径約0.05マイクロメートルの微細孔が無数に形成されるため、レーザー加熱で熔融した樹脂がその微細孔に流入し、櫛の歯がかみ合うような状態になり、強固な接合が実現している。(図1参照)

金属と樹脂を高強度に接合するのに適正な温度は200度前後。接合面の温度が低すぎる場合はアンカー効果が生じず、温度が高すぎる場合は樹脂が発泡したり、熱分解したりして不具合となる。安定した接合加工のためには、接合面の温度管理をする必要があり、レーザーを照射した状態で接合面の正しい温度を測定できるよう、接合加工中

に放射温度計を用いて接合面の温度を非接触測定することを試みている。

今後は、接合強度のさらなる向上のため、レーザー接合の原理を追究し、チタン、マグネシウム、ステンレスなど、アルミニウム以外の金属についても、それぞれの金属と用途に適した前処理方法、条件を探り、実用化を目指して研究を進める。

図1. 接合面の観察結果



お問い合わせ先 国立大学法人名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp

URL: <http://tic.web.nitech.ac.jp>

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2019/6/20	夕	11	名古屋工業大学	—	確かな情報 学生に届け 大学生による新聞発行 全国では廃刊傾向
2019/6/27	朝	11	名古屋工業大学	—	スタートアップ from中部 (2) 大学発ベンチャー続々
2019/6/29	くろしお版	14	松浦 愛	卒業生(ⅡC ²⁷)	キラリ くまのびと 「尾鷲第四トンネル」技術者 松浦愛さん(29)尾鷲市矢浜町 まだ見ぬ景色へ 貫く志
2019/7/2	東濃版朝		松本直司	名誉教授	中津川市景観審議会 会長に松本さん再任 副会長には安藤さん
2019/7/3	朝	8	松谷勇史朗	卒業生(EE ²⁸)	スタートアップ from中部 (6) ITの常識 地元で挑む
2019/7/9	飛騨版朝	14	沢 秀俊	卒業生(SA ¹⁷)	新・飛騨びと伝 建築家 沢秀俊さん(36)＝高山市上岡本町 自然との調和貫き設計
2019/7/10	浜松版朝	14	名古屋工業大学	—	進路選択のヒントに 浜松市立高 県立大教授ら模擬授業
2019/7/12	朝	7	名古屋工業大学	—	東海6大学の研究者情報分野で成果発表 三菱UFJ銀が開催
2019/7/12	西三河版	15	名古屋工業大学	—	地下17メートルの世界 体感 岡崎・六名雨水ポンプ場 中学生が工事現場見学
2019/7/12	岐阜版	16	吉田幸真	在学生(電気情報工学科3年)	岐阜から考える 参院選スタディーズ Lesson3. 障害者の権利 なくしたい心のバリア
2019/7/18	朝	30	平田晃正	電気・機械工学専攻	高齢者 8月末より危険度2倍 熱中症 梅雨明け直後注意 名工大が搬送予測式
2019/7/18	中日WEB	30	平田晃正	電気・機械工学専攻	熱中症に梅雨明け直後注意 高齢者は8月末より危険度2倍
2019/7/20	中日スポーツ		フォーミュラカー 八幡美春	—	名工大・女性リーダーはマシンに自信 車体軽量化にエンジン排気量UP:中部スポ(一般スポーツ):中日スポーツ
2019/7/20	中日WEB	30	フォーミュラカー 八幡美春	—	名工大・女性リーダーはマシンに自信 車体軽量化にエンジン排気量UP:中部スポ(一般スポーツ):中日スポーツ
2019/7/24	福井版朝	14	名古屋工業大学	—	国立大の実就職率 福井大 12年連続全国1位
2019/7/24	東三河版朝	15	山口美知英	卒業生(D48)	豊根の民泊第1号開業 Iターンのパン店主 古民家改修「村を元気に」
2019/7/29	朝	24	平田晃正	電気・機械工学専攻	東海梅雨明け 直後は熱中症要注意
2019/7/31	朝	27	産学官金連携機構	—	新ビジネス創出 名工大に集まれ 地元メーカーと連携拠点
2019/8/1	東濃版	14	藤岡伸子	社会開発工学専攻	学生と身近な植物観察 中津川・加子母小児童ら
2019/8/5	朝	10	梅野正義	名誉教授	「地震予知の可能性」 31日に専門家シンポ 名古屋市公会堂
2019/8/9	朝	27	杵川日向雅	在学生(生命・応用化学科2年)	名工大の20歳、全日本連覇 フラッシュ暗算
2019/8/9	中日WEB	27	杵川日向雅	在学生(生命・応用化学科2年)	名工大の20歳、全日本連覇 フラッシュ暗算

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2019/6/18	朝	15	浅香 透	生命・応用化学専攻	【研究現場発】原子スケールで観る物質 結晶構造の解析から物の性質を計り知る
2019/7/23	朝	15	杉田修啓	電気・機械工学専攻	【研究現場発】動脈瘤のかたさから破裂を予測 個人ごとのオーダーメイド予測実現へ

ホットライン

鶴桜会(OG会)支援金授与

名古屋工業会は、令和元年7月23日（火）、名古屋工業会館にて、鶴桜会への支援金授与式を執り行いました。

授与式の後には懇談会が行われ、武藤鶴桜会会長、藤岡ダイバーシティセンター長と加川理事長・内藤常務理事により、鶴桜会の発展のための協力等についての話し合いが持たれました。



武藤鶴桜会会長、加川理事長及び関係者

第57回 工大祭開催のお知らせ

2019年11月23日(土)及び24日(日)に、第57回工大祭が開催されます。

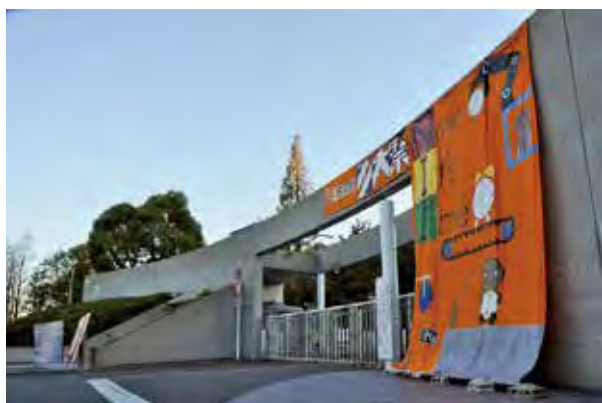
今年のテーマは「KOUDAISAI SAIKOU DAI」です。私共は来訪者の方々に楽しんでいただくのが第一の目標です。そのためには自分たちも工大祭を楽しみ、「最高だ!」と思いながら作り上げていくことが大切だと考え、このテーマに決定致しました。さらに、前後の単語がアナグラムであることで、思わず口に出して読みたくなるようなテーマです。

工大祭実行委員会から、ホームページ等により様々なお知らせを随時発信しておりますので、ご確認ください。

工大祭ホームページ <https://www.koudaisai.com/>

工大祭 Twitter <https://twitter.com/nitfes>

工大祭 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/koudaisai/>



情報 ネットワーク

2019年度 広島支部総会報告

2019年7月20日(土) 15時～17時、サテライトキャンパス広島(5階505中会議室)にて、広島支部の2019年度総会を開催しました。

工業会から昨年に引き続き加川純一理事長(K49)、大学から学長特別補佐(キャリアサポートオフィス長)の山下啓司教授(W56)に参加して頂き、同窓生28名が集いました。

加川理事長の開会挨拶、支部長の大田による活動報告に続いて、山下教授による「今どきの名工大」と題して1時間の講演がありました。

現在の名工大の大学院の進学率が72.7%であり、大学院生の大半が博士前期課程(修士)で就職し、後期課程の進学率は3.3%であること、「就職支援に力を入れている大学」ランキングでここ数年ベスト3以内に名工大が入っていること、「有名企業400社に実就職率が高い大学ランキング(2018年卒)」に1位の東京工業大学、2位の一橋大学などに続いて5位にランキングされたこと、10年前からキャリア教育と就職支援に力を入れており、3年次のOBたちの働く企業で自身の将来を俯瞰する「ジェネラルインターンシップ」や修士1年次の3ヶ月に及ぶ「研究インターンシップ」や「海外インターンシップ」があること等昔と違って、随分手厚い学生支援があることに一同驚かせられました。

総会終了後、会場を基町クレドパセーラ7階の「野の葡萄」に移し、17時30分より2時間、懇親会で旧交を温めました。

記：大田 一夫(C47)



総会会場にて記念写真（前列中央 左：加川理事長、右：山下教授）

岐阜支部活動報告[令和元年度 西濃御器所会]

(一社)名古屋工業会岐阜支部の支部活動である「西濃御器所会」の令和元年度講演会及び懇親会が、令和元年7月19日(金)午後6時30分から、J R大垣駅西のクインテッサホテル大垣に於いて開催されました。この会は名古屋工業大学の卒業生で岐阜県西濃地区を中心に居住或いは勤務している方々に集まっていただき、大学OB等の講演による会員のスキルアップと卒業生の情報交換と親睦を深めるために行われています。さらに今年は7回目で、出席者も56名と例年通りの方々に参加していただきました。

今年は昭和59年に機械学科を卒業され、現トヨタ自動車(株)生産企画本部副本部長・元町工場工場長である「二之夕 裕美」氏を御招きし、『トヨタ生産方式(T P S)の進化と深化』と題して講演していただきました。講演内容は、トヨタ自動車のモノづくりにおける生産管理や人材管理など、最先端の企業における取組と現状を写真や動画を交えながら説明をしていただきました。参加者の中にはトヨタ自動車と同様の工場勤務の方もいますので、大変参考になり深く傾聴していました。続いて名古屋工業会岐阜支部から出席していただいた支部長の久保陽一氏と担当幹事の糸見義雄氏から、岐阜支部の活動

報告と名古屋工業会への会員勧誘をしていただきました。こうして講演会等を終了した後に例年通り懇親会を行ない、各科の卒業生や同じ社内参加者が年1回或いは新規の会合の場を楽しみ、時間を忘れて懇談されていました。

大学卒業生が卒業学科を超えて交流する機会は少なく、西濃御器所会のように大学卒業生が集い情報交換或いは旧知懇親する場を提供していることは大いに意義があり、今後このような会と輪が続くことを期待しております。

記：田中 清之(A54)



懇親会の様子



講演会の様子

大阪支部・名晶会大阪支部共催「昭和電工(株)様工場見学会」開催報告

<日時>令和元年6月14日(金) 13:30 ～ 19:15

参加人数：22名

<内容>

- ・挨拶 開会挨拶 名晶会大阪支部長
加藤 修(K48)
名古屋工業会理事長挨拶
加川 純一(K49)
昭和電工(株)挨拶
事業所長 猪川 克彦 様
- ・工場・製品説明
工場概要…ビデオによる堺製造所の説明
製品紹介…「電解コンデンサー用アルミ箔」
「高熱伝導・高強度AL板材ST60」
- ・工場見学
2班に分かれて、製品展示室→溶解工場→熱間圧延工場→冷間圧延工場→
→焼鈍工場→スリッター工場→製品仕上げ・
梱包工場 を順次見学後、質疑応答
- ・事務局からの報告
名古屋工業会大阪支部副支部長(G50西川嘉一)、名晶会大阪支部幹事(K44田口教平)
- ・懇親会 シティーホテル「青雲荘」

<報告>

今回は、名古屋工業会大阪支部・名晶会大阪支部との共催で、大阪支部としては初めてのアルミニウム圧延・加工工場の見学会を昭和電工堺事業所で開催しました。

この会は、名晶会大阪支部の今年度の総会(第24回)も兼ねた催しでしたが、K科以外の方も多く参加頂きました。また、今回はご多忙の中、名古屋工業会加川理事長に出席頂き、工業会全体の現状、今後の方向等をお話頂き、充実度が増した会になりました。

工場見学会に先立ち、昭和電工OBで元名古屋工業会大阪支部長の河辺さん(K40)よりこの事業所の歴史とアルミ製造技術の苦労話など、旧昭和アルミ時代の紹介を頂きました。また、工場技術責任者二名(山ノ井さん、K50伊藤さん)の方から、堺事業所の注力製品の製造技術に関する専門的な紹介を得ました(素人にはすこし難しかった)。工場見学会は、安全の為、工場で用意して頂いた衣類、ヘルメット、防災メガネ、安全靴など着用し、若手技術者の説明で、普段は目に触れることのないアルミ材料の製造工程をインゴットの溶解・ casting から板材・コイル材に仕上げる最終工程まで、設備の間近で迫力ある見学ができました。

懇親会は、工場を離れ、浜寺公園近くのホテル「青雲荘」で美味しい料理を頂きながら、ユーモア豊かな出席者の自己紹介で、会場が盛り上がりました。

雨模様でしたが、見学、移動時には、特に支障がなく良い一日でした。

記：田口(K44)



第26回 双友会東京支部総会・懇親会

令和元年6月8日土曜日正午、歩行者天国で賑わう中央区銀座のイタリアレストラン「イブリミ・ギンザ」で、毎年恒例の「東京双友会」を名古屋工業会東京支部との共催事業として開催しました。今年は名古屋工業会からは松浦明人(M47)新東京支部長、名古屋からは森川民雄(W45)双友会会長のご出席を頂き、大学を取り巻く概況、東京支部の活動状況、双友会の現状等ご報告を頂きました。初代双友会東京支部長山田實氏(W23)のご発声で乾杯、懇親会が始まりました。東京双友会も高齢化とともに、既に鬼籍に入られた方、病身の方、介護を必要とされる方が増えています。出席したくても出席出来ない人がいる中、今回は初参加者3名と女性卒業生1名も加わり、出席者の年齢は上は90歳から下は40歳までと幅広く、徐々に徐々に新旧交代と世代交代がすすんでいるのを感じさせます。

今回の出席者名簿には在学中の所属のクラブ(同好会)活動、出身高校名を載せたことで話の糸口ができ会話が楽しくはずんだようです。それぞれに過去の話、現在の話、これからの話を各々語り合い、先輩から後輩へと東京双友会が引き継がれていくこと、そして次回の元気な再会を願いつつ散会となりました。



出席者(敬称略)

松浦明人(M47)、森川民雄(W45)、山田 實(W23)、飯田秀郎(W33)、奥語達也(W36)、細井 勉(W37)、倉島俊二(W38)、高瀬達也(W38)、鷺見武彦(W40)、谷口庄平(W42)、魚住峰男(W42)、印藤 嶠(W43)、谷岡明彦(W45)、野田明志(W47)、箕浦憲彦(W45)、山中 一(W46)、牧原八千代(W59)、河辺真典(H05)、三輪怜史(H14)

計19名

第2回 名晶会交流会

去る令和元年7月28日に第2回名晶会交流会を開催しました。名晶会交流会とは、今まで名晶会の活動の主なものは在学生に対する様々なサービスのみでしたが、堀尾順一理事長(K52)の発案で一つの試みとして卒業生同士の世代を超えて仕事や趣味の繋がりを作るということを目的とした会であります。第1回は昨年(平成30年)11月3日に開催し、大変に盛況な会となり、また参加された卒業生の評判も良かったので第2回の開催の運びとなりました。

会は堀尾理事長の挨拶に始まり、加川純一名古屋工業会理事長(K49)から大学と名古屋工業会との連携などのお話、母校西野洋一教授(K53)からの改組後の学内の状況などのお話を頂きました。また、現ダイハツ工業エグゼクティブ・アドバイザー(前副社長)である横山裕行氏(K49)より、「軽で成り立つビジネスモデル ダイハツならではの挑戦!」と題して、これからの自動車業界を取り巻く状況と軽自動車の開発についての大変興味深いご講演を頂きました。その後、参加者中の最年長の岩月鋼治氏(K37)の乾杯により親睦会が始まりました。親睦会では1名ずつ仕事や私事の現状や今困っていることなどの報告もあり、大変に楽しい一時になりました。最後は記念撮影の後、お楽しみのイベント(じゃんけんゲーム)で最優秀だった野々山秀夫氏(K45)による締め挨拶で中締めとなりました。



2019年度 東京支部総会のご案内

初秋の候 皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は名古屋工業会に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本東京支部では名古屋工業大学卒業生の絆を深める場として、毎年11月に支部総会を開催してまいりました。本年度も下記要領にて2019年度支部総会を開催いたします。

本年は、名古屋工業大学設置70年の節目の年であり、支部総会においても特別企画を準備しています。特別講演には、世界の建築様式を長年研究されてきた名古屋工業大学名誉教授の若山滋先生に、世界における建築と文化の違いに関する興味あるお話をお願いしています。また講演の後には、全学での懇親会を行います。

当日は、名古屋より、学長はじめ、工業会理事長、現役教授の皆さまをお迎えする予定です。土曜日開催でご多忙とは存じますが皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時：2019年11月16日(土)受付 12:30～14:45まで

- ・支部総会 13:00～13:40
- ・特別講演会 13:40～14:45
- ・写真撮影 14:45～15:00
- ・懇親会 15:00～17:00

会 費：工業会会員6,000円、非会員7,000円

学部卒業後8年以内の方・90歳以上の方 3,000円

場 所：鉄鋼会館8階801号室及び9階900号室(懇親会会場)

東京都中央区日本橋茅場町3-2-10

TEL 03-3669-4850

交 通：J R 東京駅下車八重洲口 徒歩約15分
 東西線 茅場町駅下車12番出口 徒歩約5分
 日比谷線 八丁堀駅下車A5番出口 徒歩約5分
 日比谷線 茅場町駅下車1番出口 徒歩約5分

特別講演会：

講師 名古屋工業大学名誉教授 若山滋先生

演題 中国「放射する文化」・日本「受容する文化」…建築の文化地政学

概要 かつての日本は中国から文字を始めとして文明の多くを受け取り、常に中国との関係においてその文化を培ってきた。しかし19世紀以降、日本は近代文明を西欧から受容し、その文化に近づこうとしてきた。ここで、二つの文化の相互関係を振り返り、日本文化の立ち位置を検討しておきたい。今後この二つの文化がどういう方向へ進むのか。



連絡先

単科会	担当者	TEL	E-mail
C E 会	松田 和繁 (C55)	080-5059-6256	kamatsud@ku.kumagaigumi.co.jp
光鱈会	長谷川久巳 (A62)	090-4522-1373	hasegawa.hisami.3t4@eng.nipponsteel.com
巴 会	戸澤 宏一 (M55)	090-1605-1038	h.tozawa.803@nitech.jp
電影会	丸山 実 (E50)	080-4676-7555	maruyama1938@gmail.com
緑 会	大久保智明 (D57)	080-4290-8131	tokubo.916@nitech.jp
双友会	印藤 嶠 (W43)	090-6921-1315	t-nikka1117@cg7.so-net.ne.jp
名窯会	日沖 昭 (Y40)	045-911-3340	hioki3@y6.dion.ne.jp
名晶会	北村 明弘 (K53)	090-6191-3316	akihiro.kitamura@sho-pat.com
計測会	小川 一郎 (F52)	090-9295-0957	i-ogawa@mtj.biglobe.ne.jp
経友会	齊藤 靖範 (B49)	090-4543-0165	y.saitou202214@docomo.ne.jp

令和元年度 兵庫支部総会のご案内

兵庫支部長 高瀬 陽太郎

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和元年度名古屋工業会兵庫支部総会を下記の通り開催致します。つきましては、ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：令和元年11月9日（土） 16：00～19：00（受付15：30～）

2. 場 所：ホテル日航姫路 3F 「真珠の間」

TEL 079-222-2231

（姫路市南駅前町100番 JR姫路駅南口 徒歩1分）

3. 式次第：

講演 「姫路城の成り立ちとお城の歴史について」

姫路城ボランティアガイド 佐竹 様

開会の辞、支部長・来賓挨拶、支部役員紹介、議事（会計報告）、乾杯、歓談、くじ引き、近況報告、校歌、万歳三唱、閉会の辞

4. 会 費：6,000円

但し、満70歳以上の会員は3,000円、

平成30、令和元年度新入会員は、無料。

なお、出欠のご返事は10月11日(金)までに下記の担当までご連絡下さる様お願い致します。

兵庫支部当番幹事 植田 康之 ueda_yasuyuki@khi.co.jp

上村 芳大 uemura_yoshihiro-m@medicaroid.com



JR姫路駅より徒歩1分

大阪支部 2019年度秋季見学会のご案内

大阪支部 支部長 岡崎 格郎 (A46)
見学会担当 西川 嘉一 (G50)

皆様、香料というものをご存じですか。生活の様々な部分に使われています。
今回、創業1808年という塩野香料の大阪工場を見学して、香料の技術を学びます。
なお、工場見学を行いますので、平日の開催とさせていただきます。

記

1. 日 時：2019年10月25日（金）
2. 集合場所：阪急電車 宝塚線 三国駅 改札口 13：45集合
(阪急梅田から普通で7分、十三の次の駅です)
3. 内 容：塩野香料 大阪工場 見学 (14：00～16：30)
(大阪市淀川区新高5-17-75)
4. 懇 親 会：見学後、三国駅付近で実施予定 (17：00～19：00)
5. 参加人員：20名
6. 申し込み事項：氏名、住所、学科、卒年、携帯電話番号、Eメールアドレス等
7. 申 込 先：各科担当者 または
見学担当者 西川 fwpg0181@mmb.infoweb.ne.jp 090-9256-0308
8. 申込期限：10月15日まで
9. 参加ご希望の方には、別途詳細案内を差し上げます。

○塩野香料 大阪工場 概要

- ・従業員 145名 ・敷地 38000㎡ ・生産能力 3000トン/年
- ・生産品目 食品香料（フレーバー） 香粧品香料（フレグランス）等

○見学プログラム

- ・香料概論 ・工場見学 ・質疑応答 等

双友会総会のお知らせ

今年の総会は、下記の内容で行いますので、会員の皆様、是非ご参加願います。

日時：令和元年10月25日（金） 17：00～18：00 大学会館3階会議室
なお、懇親会は同日18：00～20：00 （場所は未定です）

計測会総会第2部講演(学内関係者入場自由)

「元中日の伝説のスカウト法元英明氏来たる」

時間 2019年9月28日(土) 15:00 ～ 16:00

場所 5211教室(階段教室)

スカウト歴27年、今年84歳、野球への情熱未だ冷めず。

立浪和義、三沢淳、井上一樹、小松辰雄、都裕次郎、鈴木孝政、彦野利勝、山崎武司、正津英治、牛島和彦、松本幸行、田尾安志、……係わった選手は数知れず。

略歴

- 1935年 大阪府東大阪市で生まれる。
- 1942年 満州から帰国した父とのキャッチボールで野球に目覚める
- 1950年 大阪府立八尾高に入学、春・夏の甲子園に出場
- 1954年 関西大学へ入学。野球部へ。
- 1956年 大学を中退し中日ドラゴンズへ投手兼外野手として入団。
- 1959年 バッターへ転向。プロ初ホームラン。
- 1968年 13年間の現役生活を終える。
- 1969年 スカウトへ転向。その後、二軍チーフコーチ、二軍監督、一軍バッティング コーチを歴任。
- 1987年 再びスカウトに。その後チーフスカウトに。
- 2002年 ドラゴンズを退団。テレビ・ラジオ・新聞の解説者として活躍、現在に至る。

講演概略(一部変更あり)

- ・高校野球からプロ野球へ選手として思ったこと ・プロ野球に入って出会った天才達
- ・スカウトになって出会った天才達 ・選手の強さとチームの強さ ・野球から見えてくる人生

あなたも「ごきそ」の表紙を飾ってみませんか？

名古屋工業会誌「ごきそ」表紙掲載写真募集

一般社団法人名古屋工業会（名古屋工業大学全学同窓会）では、会誌「ごきそ」を幅広い年代の方が交流できるツールとして活用いただけるよう、同窓生の皆様から随筆や紀行などの原稿と共に、表紙に掲載する写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただく写真や写真データ(JPEG)は次の要領でお願い致します。

- * 未発表の作品で、他への応募予定のないもの
- * プリント写真ならば2 L判程度の大きさ、写真データならば左右のピクセル1,000以上
- * 構図は縦長（縦位置）を希望（横長の場合はトリミングさせていただきます）
- * 作品のタイトルと簡単な説明、撮影者の氏名（卒業学科・卒業年）及び連絡先を明記
- * 国立大学法人の同窓会誌のため政治色や宗教色を感じさせるものは避けてください。
- * 肖像権が生ずるような人物が特定できるものは避けてください。
- * 採用の写真は編集会議で諮ります（投稿＝掲載とはならないことをご了承ください）
- * 表紙に採用された場合は薄謝（クオカード等）を進呈いたします。

【送り先】 〒466-0062 愛知県名古屋市昭和区狭間町4 一般社団法人名古屋工業会
E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp

第44回 経友会総会・名古屋工業大学経営工学講演会のご案内

第44回 経友会総会ならびに講演会を以下の通り開催いたします。本年度も昨年同様、本学と名古屋工業会主催のホームカミングデーとジョイントして開催いたします。

お誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

日 時：2019年10月26日(土) 10:45～

会 場：名古屋工業大学 23号館 1 階2312講義室、2311講義室、4 号館 1 階ホワイエ

内 容：10：00～ 受付開始 23号館 1 階

10：45～11：00 経友会総会 23号館 1 階2312

11：00～12：00 講演会 23号館 1 階2311

講師：株式会社デンソー 吉野 睦 氏

金属工学専攻(1982年修士課程修了)、

社会工学専攻(2008年博士後期課程修了)、博士(工学)

「本当は怖いビッグデータ」

12：00～13：00 研究紹介※ 4 号館 1 階ホワイエ

13：00から開催されますホームカミングデー歓迎式典／記念講演会へ合流します。

記念講演会後はホームカミングデーの懇親会(大学会館)に参加します。

※研究紹介は修士論文、卒業研究のポスターによる紹介になります。ご自由な時間にご覧いただけますが、コアタイム(学生が説明します)は12:00～13:00です。併せて、工場長養成塾について紹介します。

※同日、学年幹事会を10：15から23号館 1 階2312で開催します。

※経友会会員の皆様のホームカミングデーへの参加受付は、経友会の受付と同時に行います。

ホームカミングデー事前申込みの必要はございません。

詳細は、名古屋工業大学 経友会ウェブサイト <https://keiyukai.web.nitech.ac.jp> にてお知らせします。



名古屋工業会のHP 会員限定ページについて

会員限定ページをご覧いただく際にはパスワード入力が必要となります。

【パスワード:gokiso5298】

「第27回ごきそ会展」2019 開催のご案内 (名古屋工業大学OB美術展)

美術を愛好する本学OBによる「ごきそ会展」を今年も下記の通り開催いたしますので是非ご高覧いただきたくご案内を申し上げます。

油彩、水彩、日本画、パステル、立体物など多数(約70点)の作品を展示致します。OBの方を始め多数の方のお誘い合わせの上ご来場をお待ちしております。

会 期 2019年(令和元年)10月22日(火)～10月27(日)
AM10:00～PM6:00(最終日PM4:00まで)
会 場 「電気文化会館5階 東ギャラリー」入場無料
地下鉄東山線及び鶴舞線伏見駅下車4番出口すぐ
問合せ先 「ごきそ会展」幹事 平川史朗 Tel:052-432-3975



写真研究部OB展開催のご案内

写真研究部(略称NITPRA)OB会の写真展(OB展)を開催いたします。当会では3年に1回写真展を開催していましたが、今年は2年に1回に開催頻度を上げ、前回2017年に引き続き4回目となります。今年は27名の諸氏が出展予定です。

写真研究部OB諸氏はもちろん、名古屋工業会会員の皆様のご来場もお待ちしております。また、地元をはじめ全国の様々な分野で活躍の諸先輩との交流を持つ良い機会ですので、現役学生の皆さんもぜひお越しください。

当会ホームページは以下をご覧ください。

<http://nitpraob.jimdo.com/>

記

名古屋工業大学写真研究部 第4回OB展(入場無料)

【場 所】 市民ギャラリー栄 第8展示室

(名古屋市中区栄四丁目1番8号 中区役所朝日生命共同ビル8F)

【開催日時】 令和元年11月5日(火)～10日(日)

9:30～18:00(最終日のみ～17:00)

記: 吉田信人(M57)

名工大テクノフェア2019

「心豊かな未来社会の創造」



名工大の研究シーズを一挙公開！

入場無料
(一般公開)

会 場：名古屋工業大学
御器所キャンパス内 NITech Hall
日 時：2019年11月1日（金）10:00～17:00

■ 特別講演およびパネルディスカッション

12:30～15:30
NITech Hall 1階ホール

■ 12:30～12:40 学長挨拶

■ 12:40～15:30 特別講演およびパネルディスカッション

「“AI × 製造業” がもたらす未来社会」(仮題)

札幌市立大学 学長 中島 秀之氏

理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長 杉山 将氏 ほか

■ シーズ紹介ポスター発表

10:00～17:00
NITech Hall 1階ホワイエ及び2階

名工大選りすぐりの研究シーズのうち、**AI・IoTとの関連が強いシーズを1階**にて、
その他の**幅広い分野のシーズを2階**にてご紹介します。

※研究シーズ毎に設定したコアタイムには、研究代表者より直接研究内容を聴くことができます。

※その他、外部機関・学内組織紹介展示も行います。

※シーズタイトル・コアタイム等の詳細情報は、下記ホームページにてご確認ください。

【お問合せ】

名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

TEL:052-735-5627 FAX:052-735-5542

E-mail: nitfair@adm.nitech.ac.jp URL: <http://technofair.web.nitech.ac.jp/>





鶴桜会
KAKUOUKAI

ホームカミングデー
同時開催！！

第4回年次交流会

2019年10月26日(土)

10:00 ~ 12:30

名古屋工業大学 2号館 11階ラウンジ

OGのみなさん！
ぜひご参加ください！



初めての方も
大歓迎！

鶴桜会とは

「年に一回会いましょう」を合言葉に、ホームカミングデーの機会を利用して、OG（女性同窓生）や現役女子学生が交流でき、縦と横の繋がりを持てる場を目指し、2016年に設立した名工大女性同窓会です。

本年は、武田 はやみさん（本学 特任准教授）にミニ講演会をお願いしています。

主催：鶴桜会（会長：武藤 敦子 名工大准教授）

参加申込み

お申込みは9月25日迄に下記よりお申込みいただくか、

（申込みフォーム URL https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=0GHhQWVbD004QqQ4ql8f0ghCf4B1Q_xCq4jO4fGxD0hUNEFPNUVIOEoxREhWOUdMTTU3STNWMFhXMC4u）

ダイバーシティ推進センターまで下記内容をご連絡ください。

- ①氏名、②旧姓、③フリガナ、④卒業学科 or 修了専攻、⑤卒業 or 修了年、
- ⑥お子さま同伴の有無、⑦託児希望の有無（希望の方は電話番号等の連絡先）、⑧自己紹介の一言

※参加費：1,000円（軽食をご用意しております）

※お子さまも一緒に参加いただけます。（参加費無料）

※託児（無料）はダイバーシティ推進センターにて行います。（詳細はセンターにお尋ねください）



お問い合わせ

名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター

電話：052-735-5121 / メール：diversity-staff@adm.nitech.ac.jp

後援：一般社団法人 名古屋工業会、名古屋工業大学卒業生連携室、名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術…
品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座—経営品質、もしもラダーシップ、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修 (F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階

TEL: 052-211-7861 FAX: 052-211-7862

E-mail: solutions@worldtech.co.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる組組みの書籍・表組み
の良物も得意分野です。

印刷

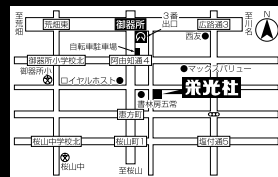
カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色
刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太
郎等の通常オフセット印刷に適合さ
ないWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・
クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットより
お手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0035 名古屋市中区松島町三丁目4番地 2F
TEL: (052) 848-6148
FAX: (052) 848-6518
URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail: eikou@theta.ocn.ne.jp



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

41年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥226,800 → ¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800 → ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪



広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

学外

吉田 亮	林 幹雄 (SC①)
北川 啓介 (SA⑧)	浅野 健 (SU⑥)
田川 正人 (M56)	
酒向 慎司 (I⑪)	廣瀬 光利 (E50)
山本 勝宏 (ZW⑥)	吉木 満 (W56)
安井 孝志 (D62)	高取 奨 (D⑥)
本多 沢雄 (ZY⑥)	野々山尚志 (Y63)
小坂井孝生 (K49)	大矢 泰正 (K52)
米谷 昭彦 (F60)	守田 賢一 (F47)
川村 大伸 (SS⑩)	入倉 則夫 (B47)
宿輪 宏典 (名古屋工業大学 企画広報課)	

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。